



6月に入りだんだんとあたたかくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。今年度、第1号の広報誌も内容もりだくさんでお伝え致します。



誰もが自分らしく生きること、そして夢の実現できる社会をめざして。

特定非営利活動法人わーかーびいーの事業がスタートして7年が経ちました。前身の「かいけつ太郎〜ケアサービスステーション（社会福祉法人長沼陽風会時代）」を含めると10年が過ぎています。

「かいけつ太郎〜ケアサービスステーション」が、地域で暮らすことを望む障がいのある方とそのご家族へのお手伝いを始めてから、その間、当事者の方や親御様、行政の方や各関係団体との合同学習会、各市による独自の障がい者支援サービスの実施等が行われ、平成15年には支援費制度という社会全体で障がい者の暮らしを支える仕組みが出来てきました。そして平成18年からの障害者自立支援法の施行。国全体が障がいのある方の暮らしを保証するという法律ができました。



しかし、私たちは単に法律や制度の枠組みの中でのみ考えるのではなく、あらゆる課題は地域の中に、そして解決策も地域の中にあるものと考えています。この10年の間、私たちは多くの方々と出会い、学び、突きつけられ、叱咤激励され、そのうえで共に考え、実践に向けて渾身の努力をして参りました。

これは、今後も何ら変わることがありません。地域の中から福祉的支援という特別な言葉が無くなり、誰もがどのような状態であっても、自分らしく夢の実現に向けながら暮らし続けていくことができる。きっとそんな日が来ることを信じ、そのためには活動を続けるのみと思っております。皆様のご意見や悩みをお聞かせいただきながら、絶えることなく活動し続けなければ、実現はあり得ないという意気込みで邁進して参ります。

これからも皆さまの厳しいご指導ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

10年という月日の間にも、私たちに求められるニーズは確実に変わってきました。いつでもどこでも気軽にヘルパーを使って外出したい・・・そんな障がい児中心の希望から、安心して自分らしい暮らしを街の中で普通に続けていきたいという社会人としての思いへ。お客様の成長とともに私たちも、サービスのソフト面や施設を用意して来ました。しかし、いつの時代でも最も求められていたのは、いつでもそこに「動くわーかーびいー」があるということだったのではないかと思います。吹けば飛んで行ってしまいそうな小さな法人だからこそ、自由に動き、時には先駆的な取り組みもできました。法人設立当時の知的障がい者デイサービスの昼の部と夜の部の二部制は、他の法人施設の若い職員から羨ましがられたものです。その後は制度の変遷とともに現在の黄昏（たそがれ）サービスという独特の時間帯のサービスに移行し、昼の部は、社会福祉法人えぼっくが引き継ぎました。一昨年から始まった全国の障がい者の共同住宅についての調査研究は、今後も全国の取り組みについて情報収集し、小さな事業体でもあってソフト的な支援の充実と継続的な経営が成り立つモデルを模索しながら、検証していきたいと考えています。

求められる限りは、たった一人の人のためであっても、私たちはそこにあった姿形に変わり、出向いていくというスタイルは、今後も変わらないことと思います。

外出支援、在宅支援、日中活動支援、短期入所支援、グループホームやケアホーム、共同住宅、相談支援・・・どれもまだ、一つ一つはさらに充実を図っていかねばいけないものですが、同時に、目の前の一つひとつの支援にしっかりと向き合い続けることの重要性を認識しているところです。





厚別区の障がい児者を支えるネットワーク

厚別区地域部会

厚別区地域部会とは、厚別区の地域福祉に関わる、地域生活包括センター、障がい者相談支援事業所、サービス提供事業所、病院、社協、行政等、現在14団体が集まり、地域に暮らす障がい児者・高齢者や困難をかかえている方とその家族の生活の質の向上と、より安心な暮らしの実現のために、地域で抱える課題等の解決に向けた検討・協議を行い、連携の輪を深めていくことを趣旨として平成23年2月に設立されました。

今年度の具体的な活動としては、2ヶ月に1回地域部会を開催し、事例検討会、区内相談員さんや区内事業所間の情報交換会を実施しています。今後も当事者や家族の会、地域福祉団体等に出向き、地域部会の説明や相談の実施を予定しています。地域の皆さんが困っている時にいつでも気軽に応援できる、そんなネットワークを目指して活動していきたいと思っております。ご不明の点やご相談に関しては、事務局を担当しています、まずとびいーまでご連絡ください。

札幌市委託相談支援事業所 まずとびいー

〒004-0045 札幌市厚別区厚別中央4条2丁目19番15号 TEL011-299-3856 FAX011-894-3899



東日本大震災 被災地支援報告

わーかーびいーも被災地を助けたい!! そんな想いからボランティア活動に参加しています。まずトップバッテリーで向いた奥村航スタッフより、生の声をお伝えします。

今回自分が参加したのは、社会福祉法人ホップさんが主体で立ち上げた「輸送ボランティア・レラ」です。4月19日～29日の日程で、宮城県石巻市に行ってきました。石巻市は津波の被害が大きかった街で、震災当時は生活排水や汚染物質等が混合した水が流れてきたために、不衛生な状態になっていました。そのため地面に荷物などを容易に置くことはできず、外出先から戻った際には消毒液が欠かせない状況。そして港の方へ行けば行くほど倒壊した住宅、堤防に乗り上げた船などが見られ悲惨な状態でした。全国各地から自衛隊や医療ボランティア団体などが集まり、皆で復興を目指して活動する様子がみられ、その姿には感動を覚えました。

ボランティアの主な業務は、避難所で生活されている方々を通院先や外出先まで送迎する仕事です。このような送迎業務を通して地元の方々にお話を聞くと、震災以降はじめて入浴をされる方や、人工透析に行くための交通手段に困られていた方がおり、「無料送迎ボランティアが見つかった良かった」と涙を流される方もいました。震災により今までの日常生活ができなくなることによって、どんな思いで地元の方々は生活されているのかを考えさせられ、そして被災地ではない北海道で生活する自分がいかに恵まれた生活環境でくらしているのかに気付かされた活動でした。3月11日の大地震発生から3ヶ月程たちますが、少しずつ石巻市も含め被災地は復興に近づいていることは間違いありません。そして、一人ひとりができる事をすれば、間違いなく良い物が生まれてくると思います。今こそ「ひとつになろう日本」です。

23年度チャレンジタイムのご紹介

大変お待たせしました。今年度の企画のご紹介をさせていただきます☆

★8月★バーベキュー&花火★

夏の夕方企画です。お肉と野菜をいっぱい焼いてモリモリ食べましょう! 外が暗くなってきたらお待ちかねの花火をみんなでわいわいと(〇)

★12月★クリスマス会★

毎年恒例のクリスマス会です。皆様にもご参加いただける出し物や、クリスマスケーキも用意しています



★2月★雪まつり見学ツアー★

大小様々な雪像を見学しながら、温かい軽食や飲み物でホッと一息。雪国ならではの冬の醍醐味を一緒に楽しみましょう!

詳細が決まり次第、改めてご案内させていただきます。
今年度は是非ご参加ください。お待ちしております~” *☆



<編集後記>

今回の広報誌はいかがでしたか。この度、初めて広報誌の担当をさせて頂きましたが、周りのスタッフにたくさん協力してもらいながら、良い記事が集まりました。最後までご覧いただくと嬉しいです。今年度も新しいスタッフが加わり、体制も新しくなりましたが、これまで通りお客様にとって身近なわーかーびいーでいられたらと思います。次号でも被災地支援報告の第2段の他、色々な記事を載せたいと考えています。よろしくお願いします。(渡辺美弥)

<特定非営利活動法人わーかーびいー>

◎かいけつ太郎〜ケアサービスステーション

〒004-0033 札幌市厚別区上野幌3条4丁目1番12号 TEL011-893-1199 FAX011-893-5599

◎とんとん

〒002-0855 札幌市北区屯田5条4丁目1-67 東側 TEL011-887-8173 FAX011-887-8174

◎びいーはいびい

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南5丁目3番41号 TEL011-894-0988 FAX011-375-0283

◎らんらん

〒050-0061 室蘭市八丁平3丁目16番17号 TEL0143-47-4060 FAX 0143-83-7005

